



提言書

若者が自分らしく活躍できるまち

～将来にわたり活力あふれる藤枝～



藤枝市

Fujieda City

令和4年度 新公共経営プロジェクトチームメンバー

所 属		氏 名
スポーツ文化観光部	サッカーのまち推進課	片山 遥
環境水道部	下水道課	齋藤 哲
総務部	人事課	原田 直
企画創生部	広報課	諸田 雄斗
財政経営部	課税課	斉藤 巧真
市民協働部	市民課	川村 波美
子ども未来応援局	子ども発達支援センター	寺本 万由子
産業振興部	農業振興課	中谷 颯
都市建設部	地域交通課	大石 竜己
教育部	図書課	清水 瞬
監査委員事務局	監査委員事務局	伊藤 暢子

目次

1

現状・課題

2

仮説・分析

3

目指すべき姿と解決の方向性

4

提案事業

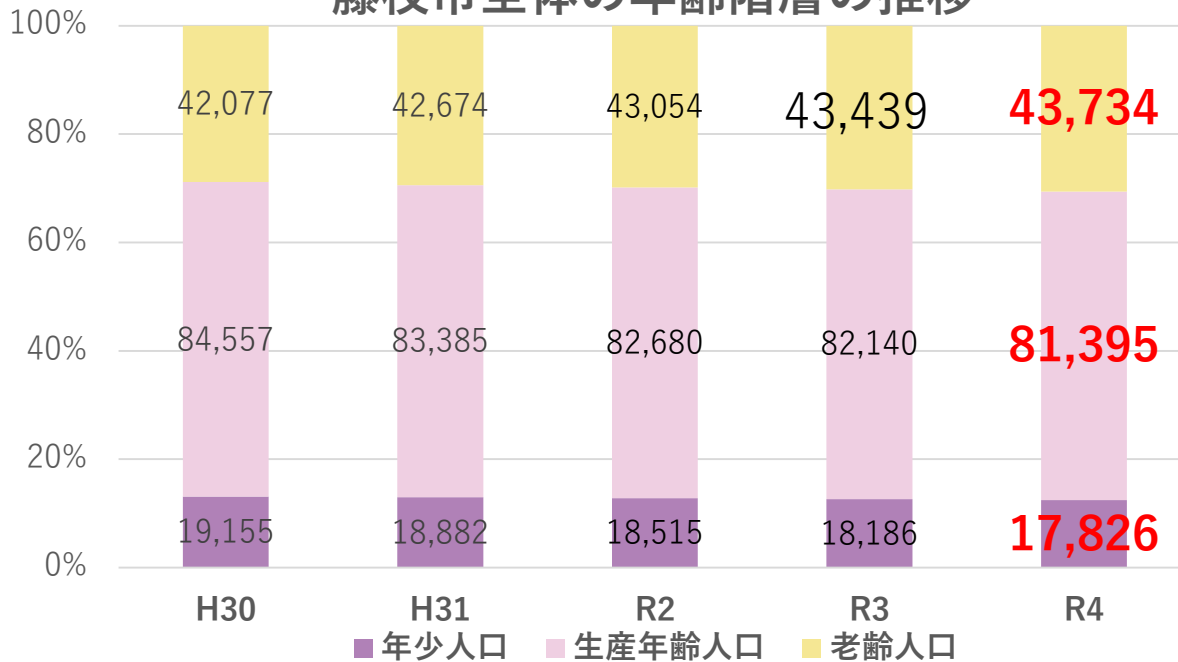
5

総括

1 現状・課題

現状（社会構造の変化）

藤枝市全体の年齢階層の推移



H30からR4の5年間で

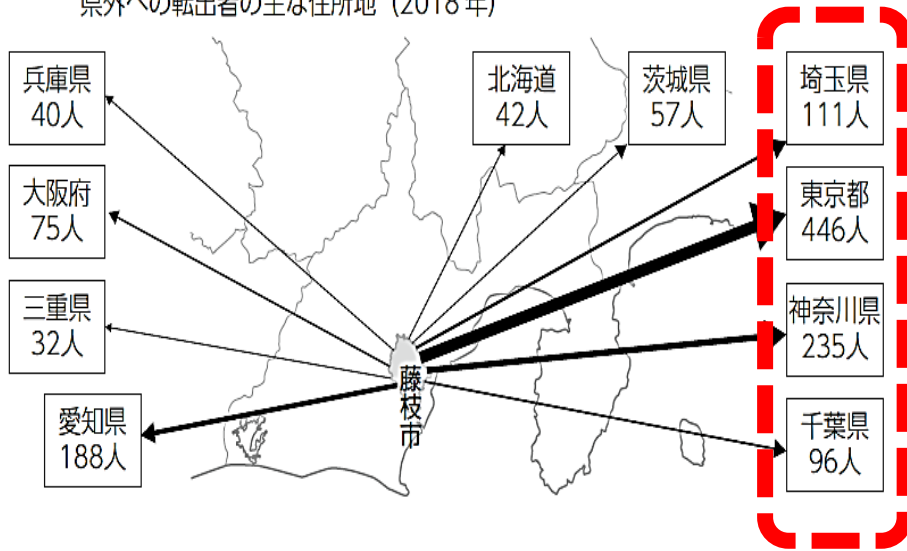
- ・ 年少人口 **1,329人減**
- ・ 生産年齢人口 **3,162人減**
- ・ 高齢人口 **1,657人増**

人口減少・少子高齢化が進行

現状（人口動態）

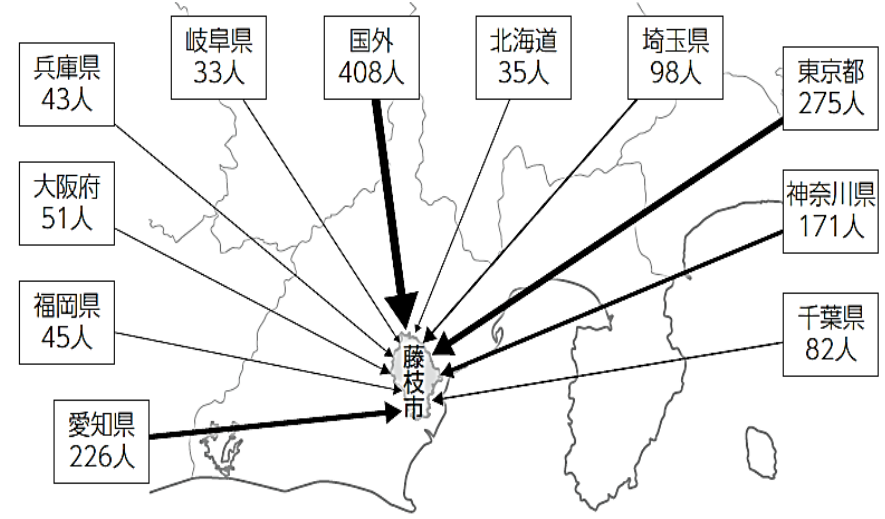
流出

県外への転出者の主な住所地（2018年）



流入

県外からの転入者の主な前住所地（2018年）

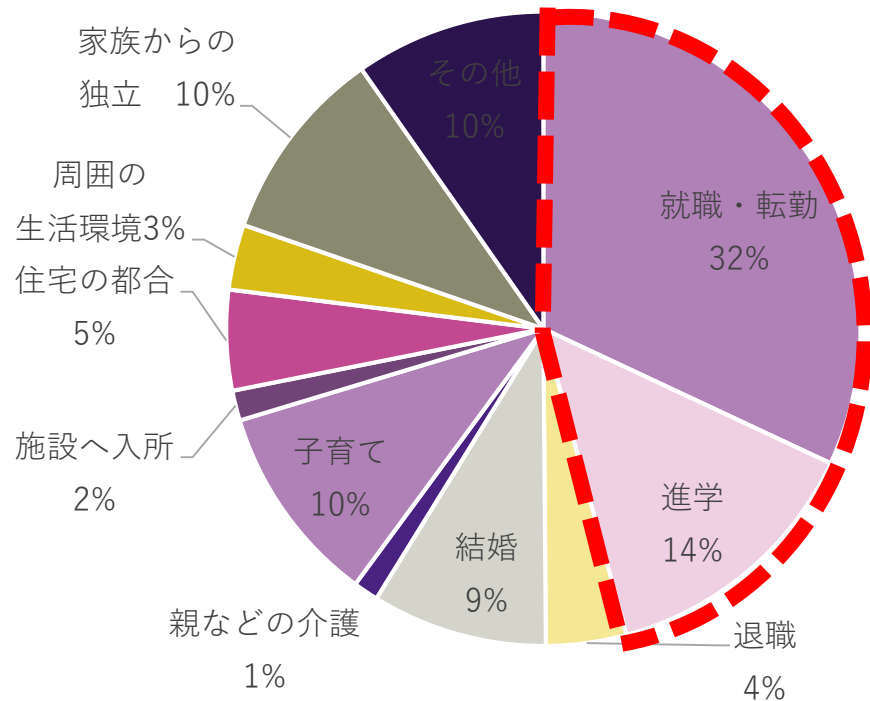


※第6次藤枝市総合計画

都市部への人口流出

現状（転出の契機）

転出の契機（※令和3年度藤枝市転入・転出者市民アンケート調査）

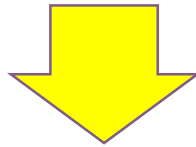


就職・転勤 32%
進学 14%
子育て 10%
結婚 9%

転出は比較的若年層に多い

P Tからの課題提起

- 地方で難題となっている生産年齢人口の減少
- 市が総力を挙げて立ち向かわなければならない

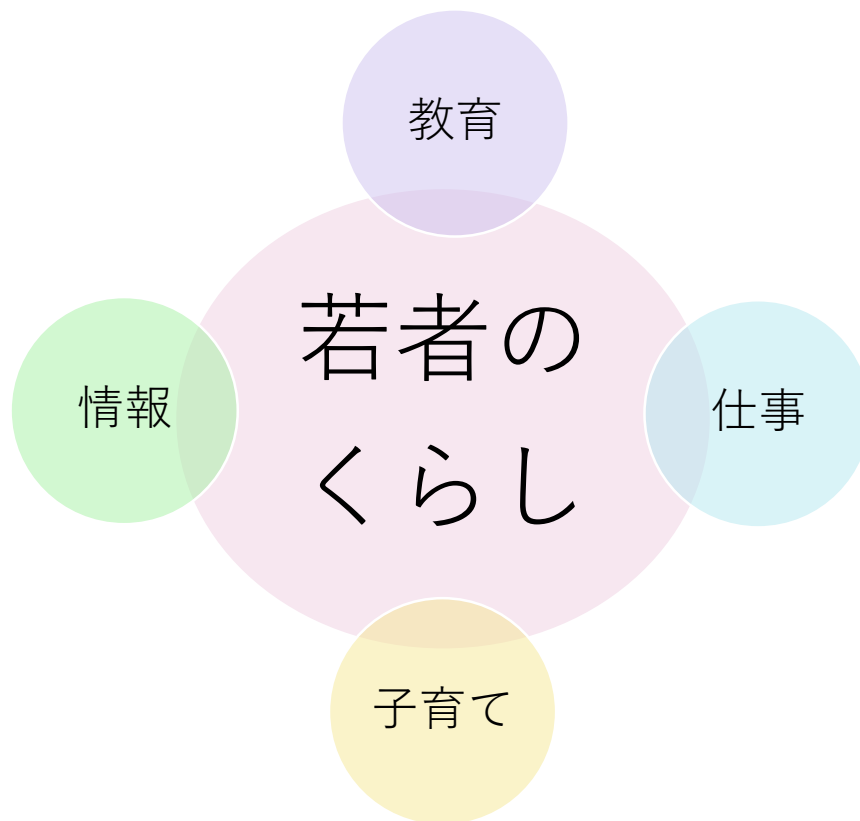


未来を担う**若者に選ばれ続ける**ための
環境づくりが重要

2 仮説・分析

若者のくらしに重要な4つの環境

- ① 教育環境
- ② 仕事環境
- ③ 子育て環境
- ④ 情報環境

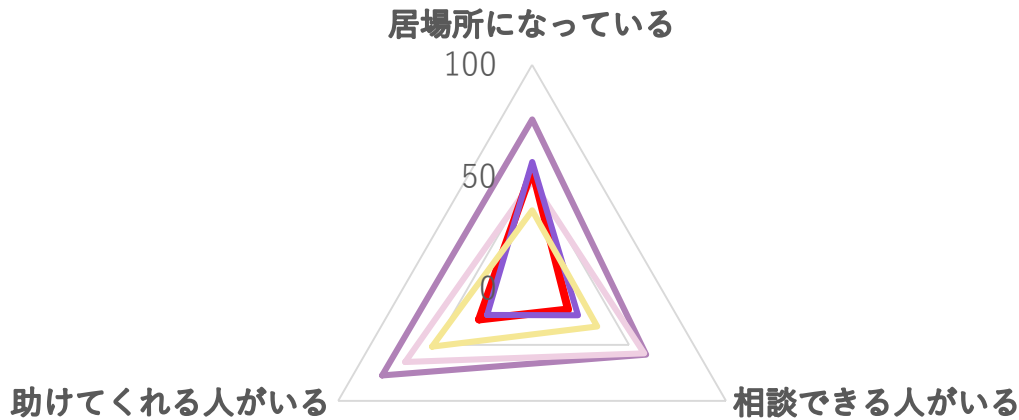


① 教育環境

地域社会の一員としての意識の希薄化

13歳～29歳若者の地域に対する認識

— 家庭 — 学校 — 地域 — インターネット空間 — 職場



※子ども・若者の意識に関する調査
(令和元年度 内閣府)

学校教育において

地域を学び・地域に触れる

機会はあるものの、

地域社会の一員としての

意識が十分に育まれてい

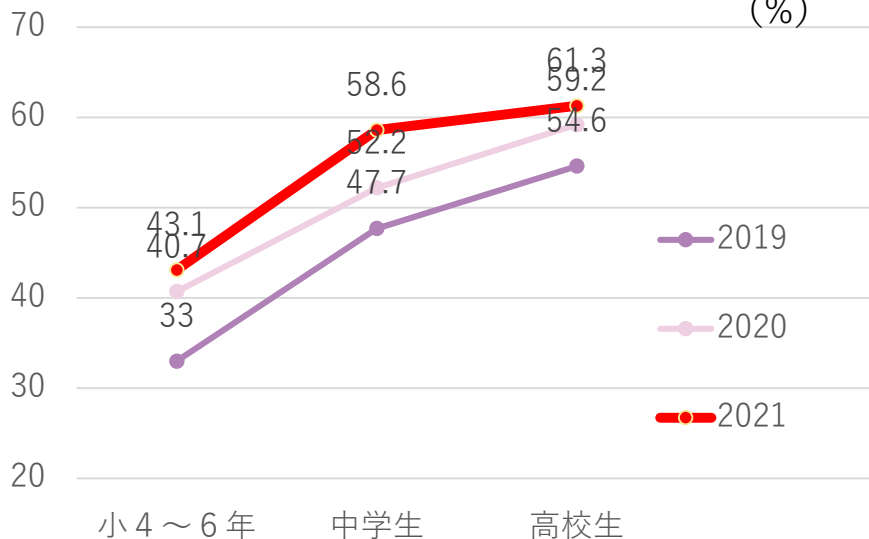
ない。

① 教育環境

学習意欲がわかない子どもが増加している

勉強しようという気持ちがわかない

(%)



※子どもの生活と学びに関する親子調査2021
(東京大学・ベネッセ教育総合研究所)

さらに、学習意欲の低下・向上
に関連する要因として

学習の理解や授業の楽しさ

将来（進路）を深く考える機会

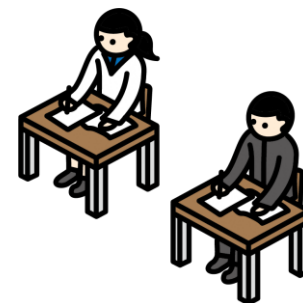
が関連している。

① 教育環境

子ども自身が学び方を身に付け、
地域社会や自身の将来について主体的に
考え、参画する能力を養うために

意欲的に学べる機会の創出

が重要。



② 仕事環境

希望する就職地

2023年大学卒業予定者へのアンケートによると、地元で就職を希望する若者が**62.6%**

若者の就労の意識調査によると、働く場所が自由になった際の理想の居住地として、「地元に住みたい」と回答する人が**57%**

※2023年卒 大学生Uターン・地元就職に関する調査
(マイナビ)

希望する企業が地元であれば、地元で働きたいと考えている。

② 仕事環境

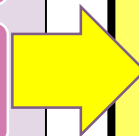
若者の仕事観の変化

平成元年

1位：やりたい仕事ができる

2位：給与の水準が高い

3位：福利厚生が充実している



平成30年

1位：福利厚生が充実している

2位：やりたい仕事ができる

3位：ワークライフバランスが
実現できる

※平成元年と平成30年の新卒社会人各1000人を対象にした仕事観に関する調査（アデコ株式会社）

② 仕事環境

若者に魅力のある、

「働きやすさ・生活の充実」を図ることが

できる、仕事環境の充実が重要



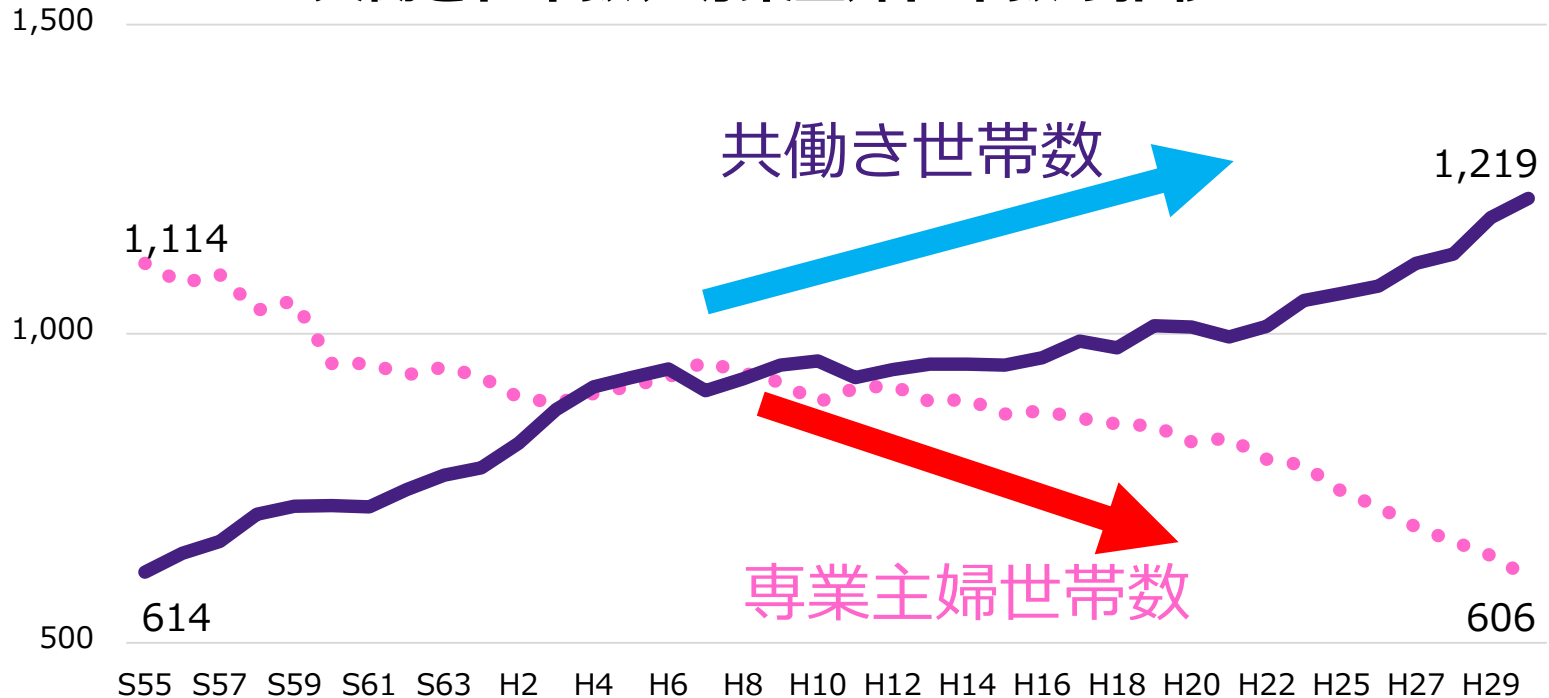
③ 子育て環境

共働き世帯が増加

※R1内閣府共働き世帯の調査

(万世帯)

共働き世帯数、専業主婦世帯数の推移



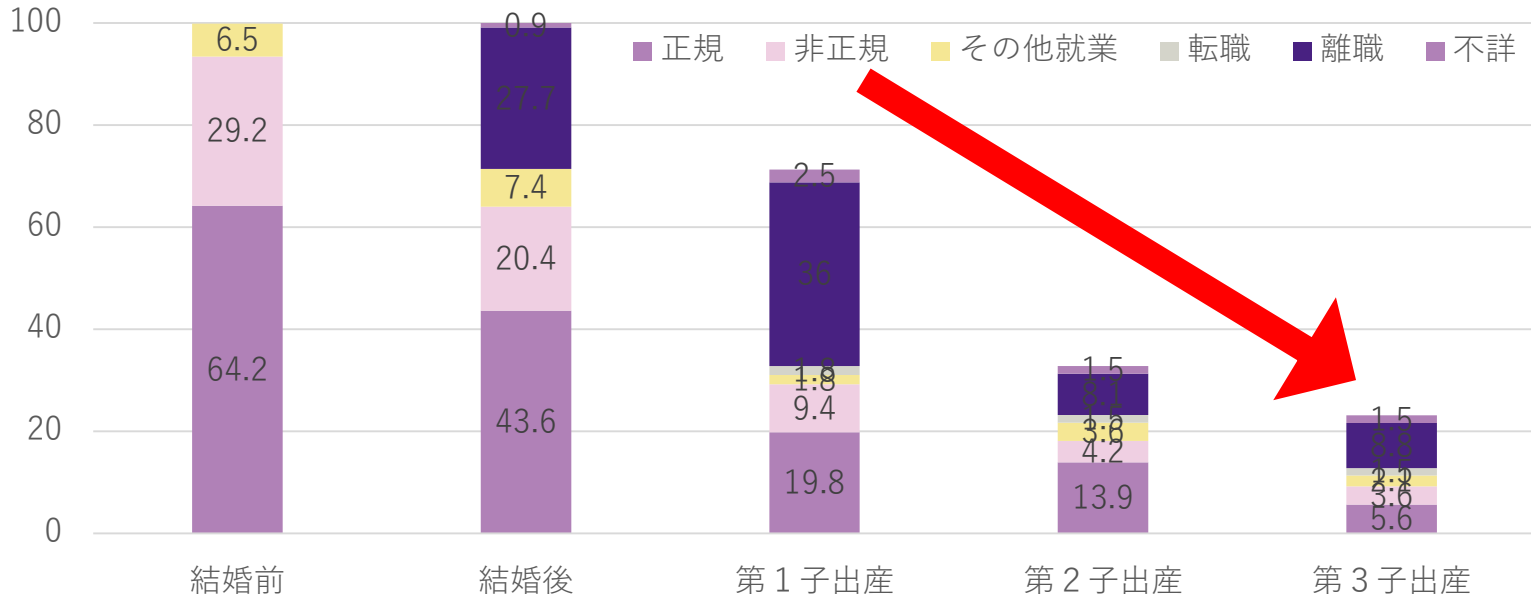
③ 子育て環境

出産を機に約6割の女性が仕事から離れている

(%)

※男女共同参画白書 平成25年版

出産育児を経た女性の労働力の変化※

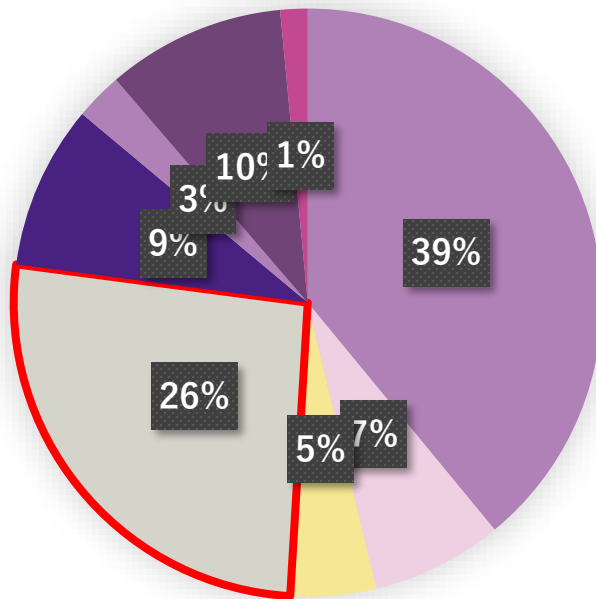


※結婚前に仕事ありの女性を100としている

③ 子育て環境

3割弱の女性が「仕事と育児の両立の難しさ」を理由に離職

結婚・出産をきっかけに離職した理由



- 家事や育児に専念するため自発的に
- 結婚・出産・育児を機に辞めたが、直接的な理由ではない
- 夫の勤務地等の都合で仕事の継続が難しかった
- **仕事を続けたかったが仕事と育児の両立の難しさで辞めた**
- 解雇・退職推奨
- 子を持つ前後で仕事内容や責任が変わり、やりがいを感じなくなった
- その他
- 特になし

※内閣府平成18年版国民生活白書 第2節女性の就労を妨げる壁

③ 子育て環境

働く意欲のある若者が、仕事と育児の両立の難しさを理由に離職しているため、

若者の「子育ての負担」を軽減する

環境づくりが必要



④ 情報環境

情報発信・受信方法について

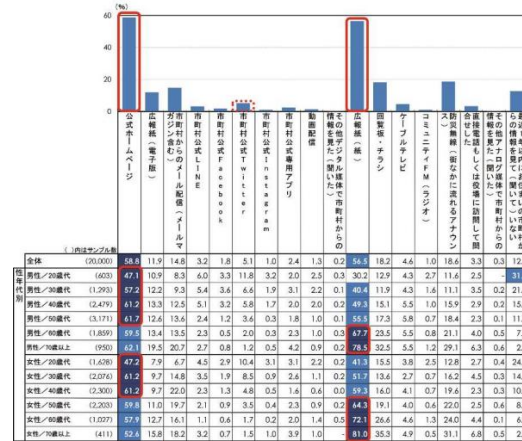
20代男性における「最近1年以内にお住まいの市町村からの情報を見て（聞いて）いない」との回答は31.3%



年齢別SNS等の利用率（年齢とともに減）

※ 「消費者白書」(2022年) 消費者庁

図表60 自治体情報の受信方法 [住民アンケートスクリーニング調査/MA]



※ 「自治体における効果的な情報発信媒体に関する調査研究報告書」(2021年3月) 公益財団法人 東京市町自治調査会

④ 情報環境

自治体から若者に届けたい地域の情報と、
若者が得ている情報にミスマッチが生じて
いるため、**若者の情報取得手段や個人の
関心に合致した情報発信が必要**



3 目指すべき姿と 解決の方向性

1. 目指すべき姿

**若者が自分らしく活躍できるまち
～将来にわたり活力あふれる藤枝～**



2. 本提言での定義

活躍とは

生き生きと働き、地域経済を支え、**活力あるまちの創造に寄与**すること

若者の定義

10代

20代

30代

- 働き始める世代
- 子育て等を契機に、藤枝で働く世代

10代

20代

30代

教育 (学校教育)

生涯を通して意欲的に学ぶことができるまち



仕事

いきいきと働き、自己実現できるまち



子育て

働きながらも安心して子育てできるまち



情報

若者が情報を活用し、自分らしく活躍できるまち



10代

20代

30代

教育 (学校教育)

(リカレント)

生涯を通して意欲的に学ぶことができるまち



仕事

いきいきと働き、自己実現できるまち



子育て

働きながらも安心して子育てできるまち



情報

若者が情報を活用し、自分らしく活躍できるまち

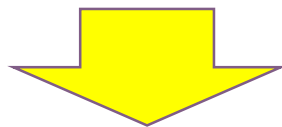


3. 解決の方向性①「教育」



生涯を通して意欲的に学ぶことができるまち

藤枝の未来を拓く人財を育成するため、地域の実態にあった特色ある学び環境を整備し、**生涯を通して市民の学びの意欲を高め続ける。**



ライフステージに応じた
“学びの環境モデルふじえだ”づくり

10代

20代

30代

教育 (学校教育)

生涯を通して意欲的に学ぶことができるまち



仕事

いきいきと働き、
自己実現できるまち



(リカレント)

子育て

働きながらも安心して
子育てできるまち



情報

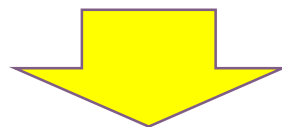
若者が情報を活用し、自分らしく活躍できるまち



3. 解決の方向性②「仕事」

いきいきと働き、自己実現できるまち

若者の「仕事」に対するニーズや価値観を的確にとらえ、
本市で**いきいきと働く**ための支援を充実する。



一人一人の理想の働き方を
実現できるまちづくり

10代

20代

30代

教育 (学校教育)

生涯を通して意欲的に学ぶことができるまち



仕事

いきいきと働き、自己実現できるまち



(リカレント)

子育て

働きながらも安心して子育てできるまち



情報

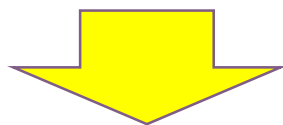
若者が情報を活用し、自分らしく活躍できるまち



3. 解決の方向性③「子育て」

働きながらも安心して子育てできるまち

育児の負担や孤独に悩む“孤育て世帯”に対して、地域や家族単位で支えあい、**働き続けながらも安心して子育て**ができる体制や環境を整える。



“孤育て”から、“みんなで子育て”
に向けた環境整備

10代

20代

30代

教育 (学校教育)

(リカレント)

生涯を通して意欲的に学ぶことができるまち

仕事

いきいきと働き、自己実現できるまち

子育て

働きながらも安心して子育てできるまち



情報

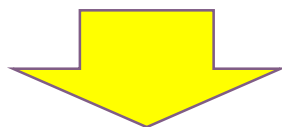
若者が情報を活用し、自分らしく活躍できるまち



3. 解決の方向性④「情報発信」

若者が情報を活用し、自分らしく活躍できるまち

若者の情報取得方法に対応し、時流と**一人一人の需要に応え、必要な情報が伝わる**情報発信体制を整える。



若者に響き、広がり、行き届く
情報システムの構築

4 提案事業

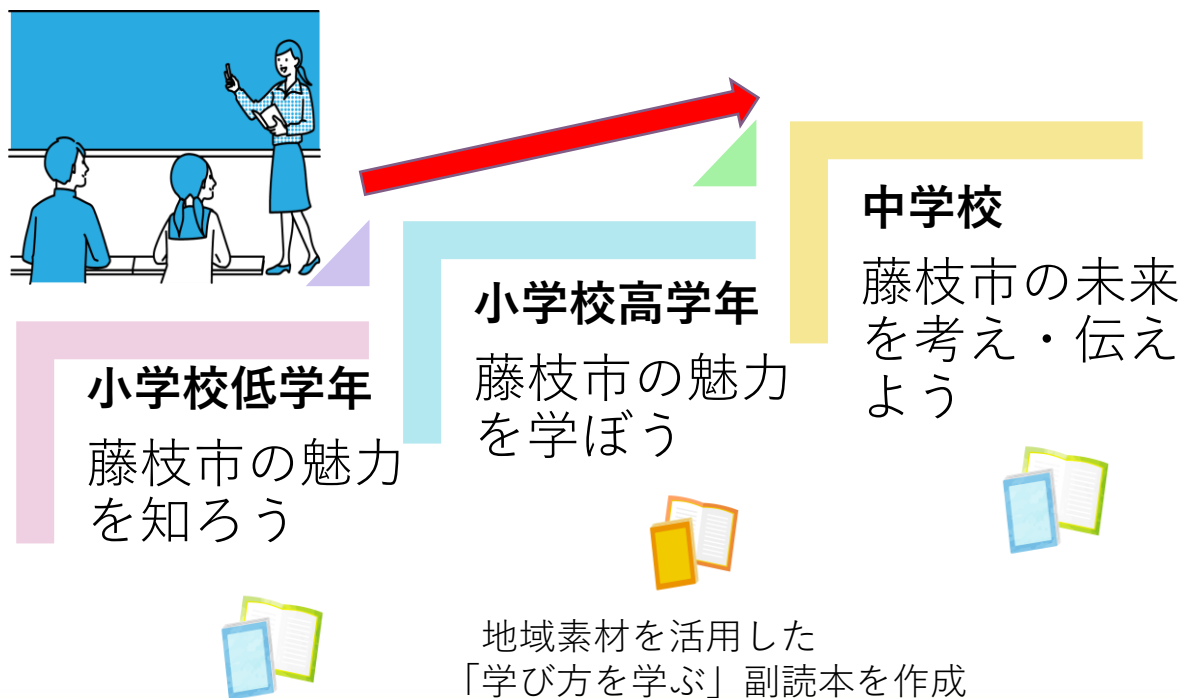
1. ライフステージに応じた
“学びの環境モデルふじえだ”づくり

① 未来を生き抜く人財育成カリキュラム

①未来を生き抜く人財育成カリキュラム

【事業概要】

- 地域を学びながら小中学校 9 年間で身に付けたい力を育むためのカリキュラムを盛り込んだ、学年ごとの副読本を市が大正大学等と連携して作成。



社会的資質...
社会参画意識...
郷土愛...



学ぶ意欲...

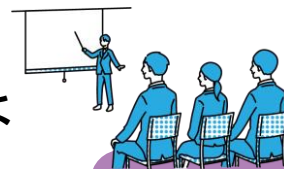
①未来を生き抜く人財育成カリキュラム

【事業効果】

地域素材を活用することにより、子どもたちが**楽しみながら意欲的に学習**

各学年ごとの副読本により発達段階に応じた**系統的・継続的**な学びの機会を提供

将来社会で活躍するための、**「未来を生き抜く力」の育成**



授業での学び



報告・発信
(ex.市長報告・学校間発表)

地域を知る
(ex.フィールドワーク)



発信力向上
傾聴力向上



対人関係能力向上
社会参加の機会
学ぶ意欲向上



解決に向けた**アクション**

課題の発見



社会参画意識向上
実行力向上

創造力向上
考える力向上

主体性向上
課題発見力向上



解決のために**考える**

1. ライフステージに応じた
“学びの環境モデルふじえだ”づくり

② 企業の職場見学・学習の仕組みの構築

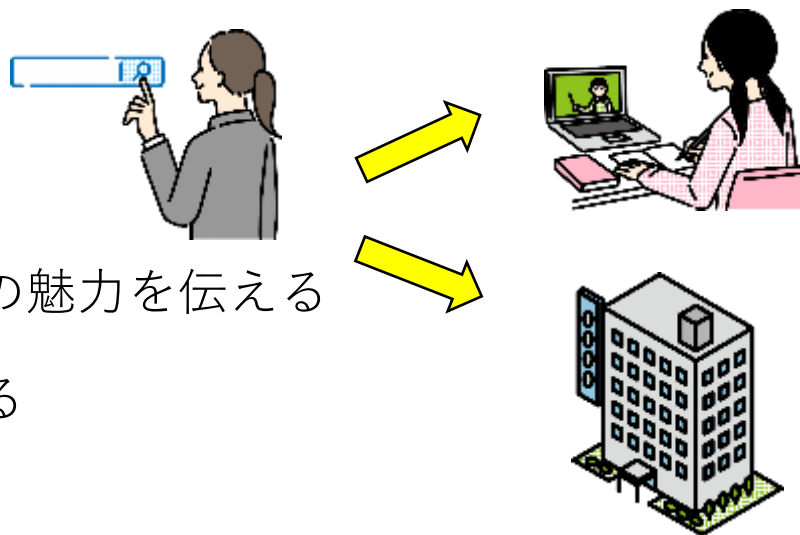
②企業の職場見学・学習の仕組みの構築

【事業概要】

- ・市内の小学生から高校生が地元企業の見学・体験を希望する際に申込を行える専用フォームを市が開設。（事前に受入可能企業を募集）
- ・実際に足を運んでの見学もICTを活用したリモート見学も可能。

【予想される効果】

- ・市内の児童生徒に地域産業の魅力を伝える
- ・学びやすい環境が確保できる
- ・働くことへの意識をつける



2.一人一人の理想の働き方を実現できるまちづくり

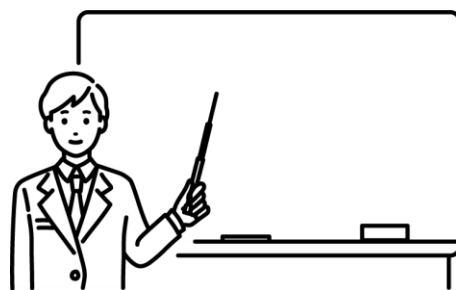
①藤枝市民大学と連携した就職支援

①藤枝市民大学と連携した就職支援 —①資格取得コースの充実

【事業概要】

- ・令和5年度から本格実施される市民大学の資格取得コースで、個人のスキル、キャリアアップにつながる資格取得講座を開設
- ・資格取得講座を受講し資格を取得した学生に報奨金を交付（1資格につき10,000円程度）

宅地建物取引士、
ファイナンシャルプランナー
など



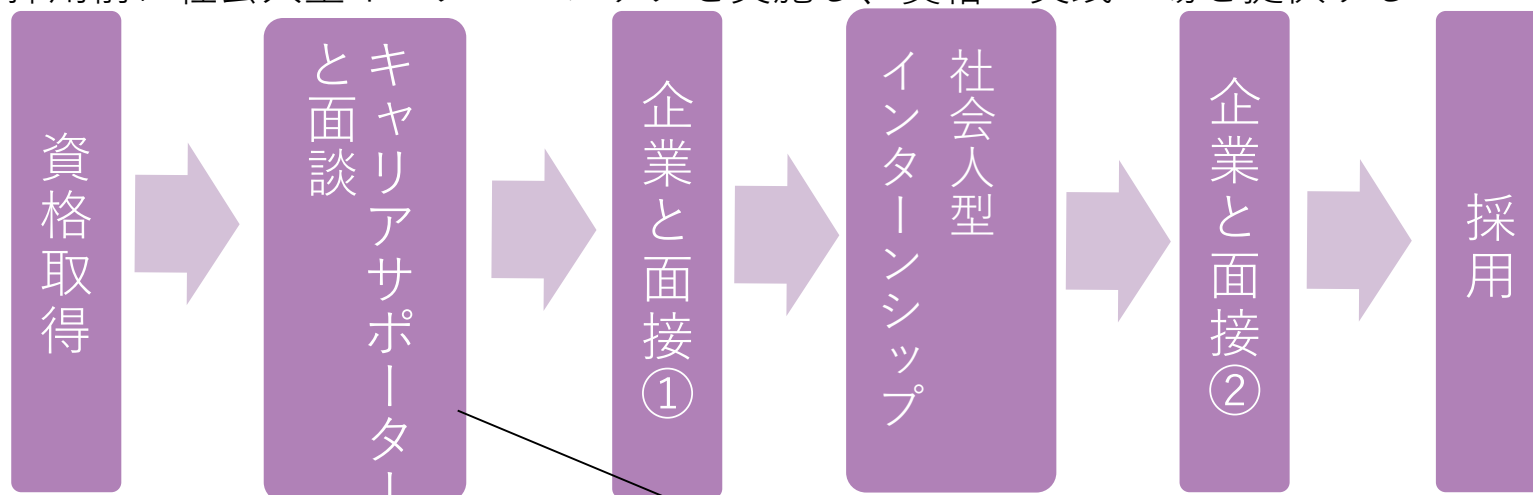
【予想される効果】

- ・いつからでも学びにチャレンジでき、資格取得を通じてスキルアップできる

①藤枝市民大学と連携した就職支援 —②資格取得者を就職まで伴走支援

【事業概要】

- ・ 静岡産業大学と連携して、市民大学内に受講生が利用できる予約制のキャリアサポーターを配置
- ・ 市内関連企業と資格取得者のマッチングや面接練習等を行う
- ・ 採用前に社会人型インターンシップを実施し、資格の実践の場を提供する



【予想される効果】

- ・ イメージの違いによる短期離職の抑制
- ・ 自身の適性を知ることができる

※市内の受け入れ企業リストを保有

2.一人一人の理想の働き方を実現できるまちづくり

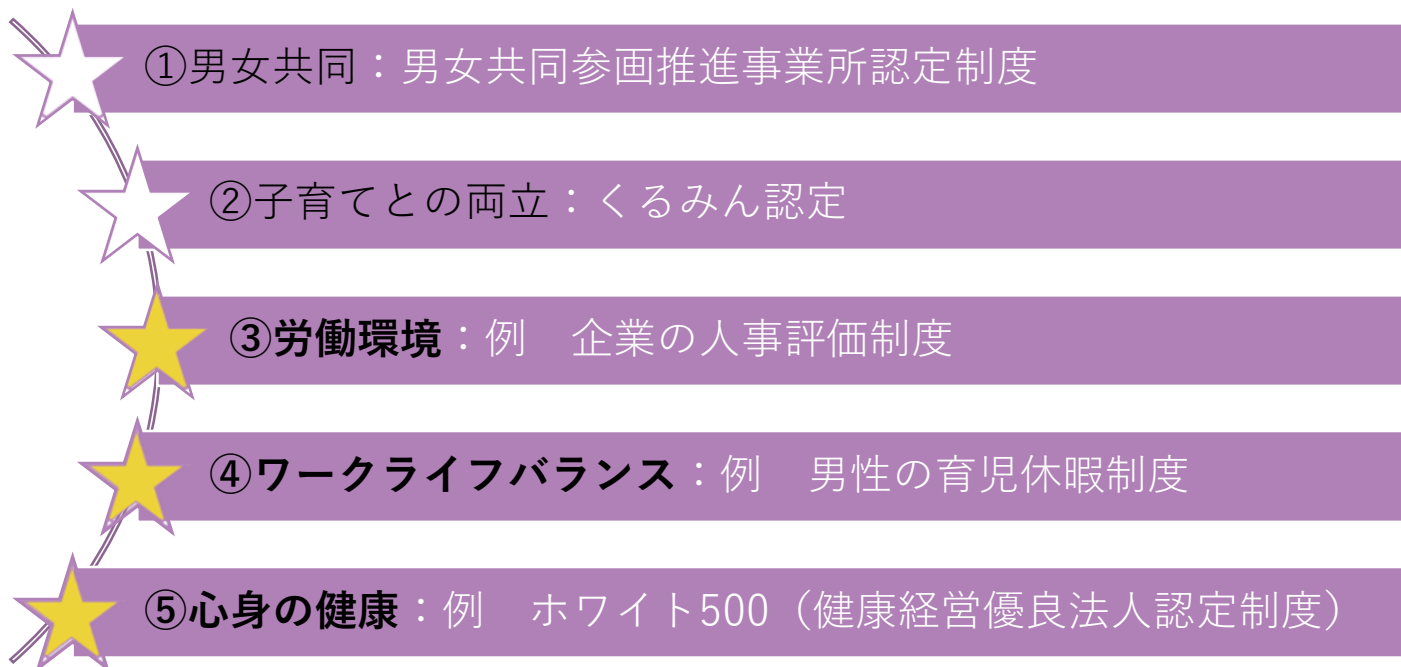
②職場環境日本一！

藤枝型「働く人にやさしい企業」認定制度

②職場環境日本一！ 藤枝型「働く人にやさしい企業」認定制度

【事業概要】

- ・本市で実施している男女共同参画推進事業所認定制度の主たる認定項目①②に加え、③④⑤の視点を強化し、当該制度を拡充する。



②職場環境日本一！ 藤枝型「働く人にやさしい企業」認定制度

【事業概要】

- ・制度推進のために、必要とする項目に応じた研修会や交流会を市が開催する。

市が主体となって項目ごとの
認定のための研修を実施

様々な業種・業界の人が意見を
交換する機会の提供

社内P Tの立ち上げと経営層へ提言

働き方改革に関するアドバイザー
の派遣

【予想される効果】

- ・他の企業の取り組みや専門家の意見を参考に自社の職場環境を見直すことができる。
- ・市内企業全体の働きやすさの底上げが図られ、働く人の幸福度が高まる。

2.一人一人の理想の働き方を実現できるまちづくり

③働く人のQOL
(クオリティー・オブ・ライフ) を向上

③働く人のQOLを向上 －①ミールキットで心と身体 の健康支援



【事業概要】

職場で一括注文



職場で受取り

- ・ 20～30代の市役所職員約50人に働きやすさに関するアンケートを実施
- ・ 民間企業と包括連携協定を結び、藤枝市内で働く人を対象に事前予約制でミールキット※を職場へ配達
- ・ 藤枝産の野菜を中心に、必要な分量の食材と市栄養士が考案した1週間分のレシピを同封

【予想される効果】

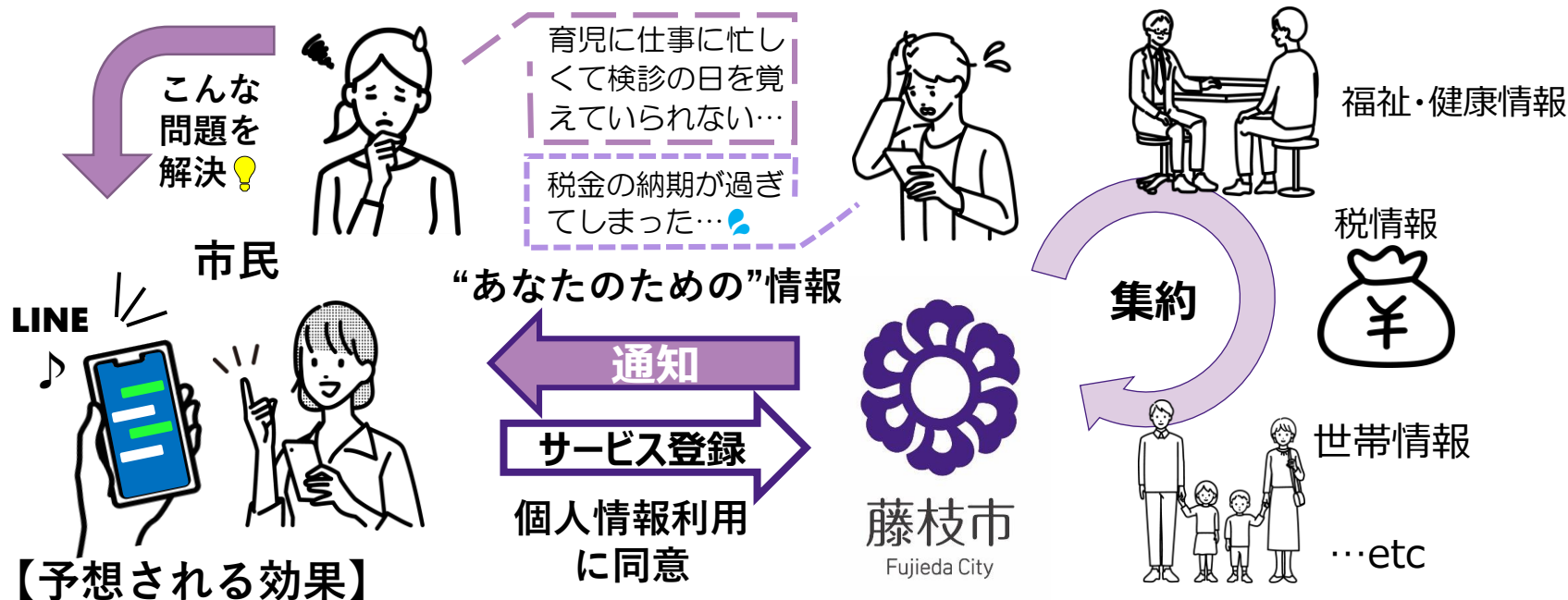
- ・ 働く家庭の買い物に行く時間の削減
- ・ 安全な食材の確保ができ、栄養バランスのとれた献立を悩むことなく帰宅後すぐに調理できる

※ミールキット…必要な分量の食材とレシピがセットになったもの

③働く人のQOLを向上 —②LINEを活用した助成や検診などのお知らせサービス

【事業概要】

- ・住民情報を活用し、市公式LINEで忙しい若者に必要な情報を提供



【予想される効果】

- ・仕事をしながら子育てをしているとつい忘れがちな、予防接種や検診の受診、各種助成金の受給や市民税や水道料などの支払いの納付などの漏れを予防。

3.“孤育て”から、“みんなで子育て”に向けた環境整備

①“託児付きコワーキング&リフレッシュスペース”を設置したハイブリット型子育て支援施設

①“託児付きコワーキング&リフレッシュスペース”を設置したハイブリット型子育て支援施設

【事業概要】

- ・子育て支援センター等にコワーキング&リフレッシュスペースを併設

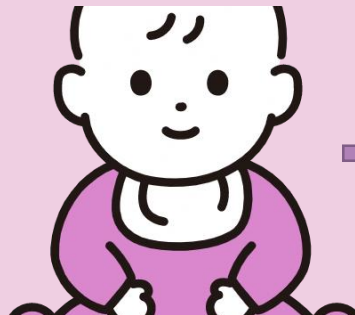
ハイブリット型子育て支援施設



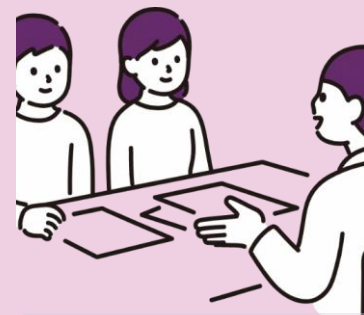
親子の遊び・交流



コワーキングスペース



一時預かり



育児相談

【予想される効果】

- ・子育て中でもリモートワーク等の新しい働き方を選択でき、自分にあった仕事と育児の両立スタイルを確立できる。
- ・保護者の育児負担の軽減とリフレッシュに繋がる。

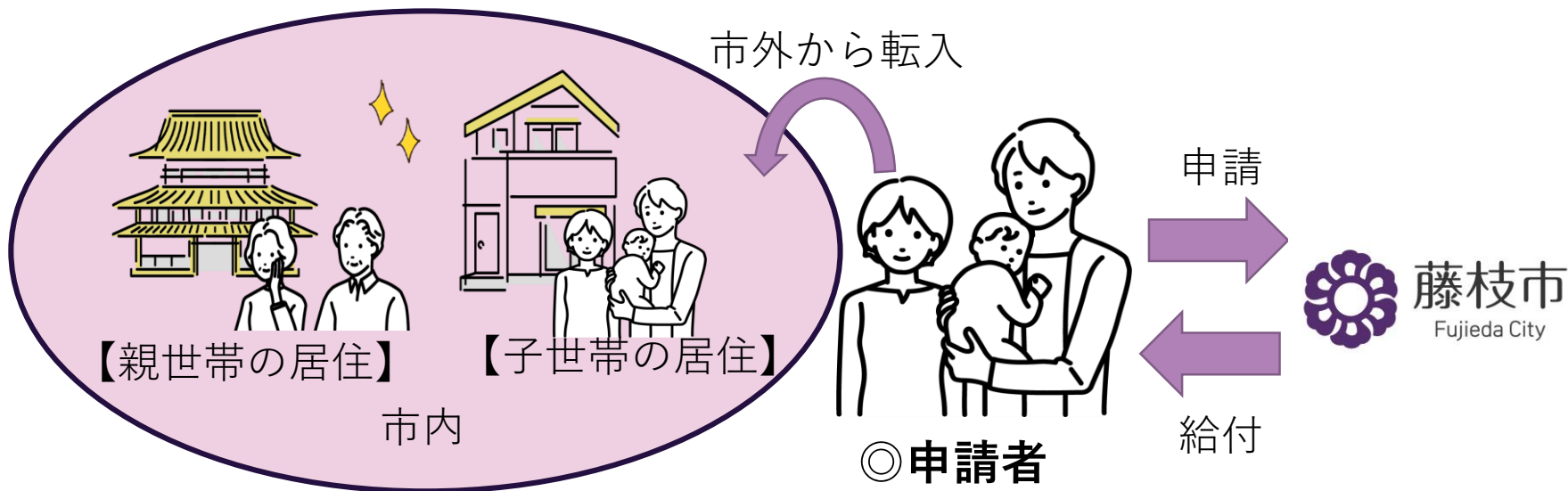
3.“孤育て”から、“みんなで子育て”に向けた環境整備

②三世代にこにこ同居・近居住宅取得 促進助成制度

②三世代にこにこ同居・近居住宅取得促進助成制度

【事業概要】

- ・子育て世帯と親世帯が、同居・近居する場合の住宅取得補助



【予想される効果】

- ・「実家の近くで親のサポートを受けながら子育てをしたい」と考える子育て世帯の定住が促進される。

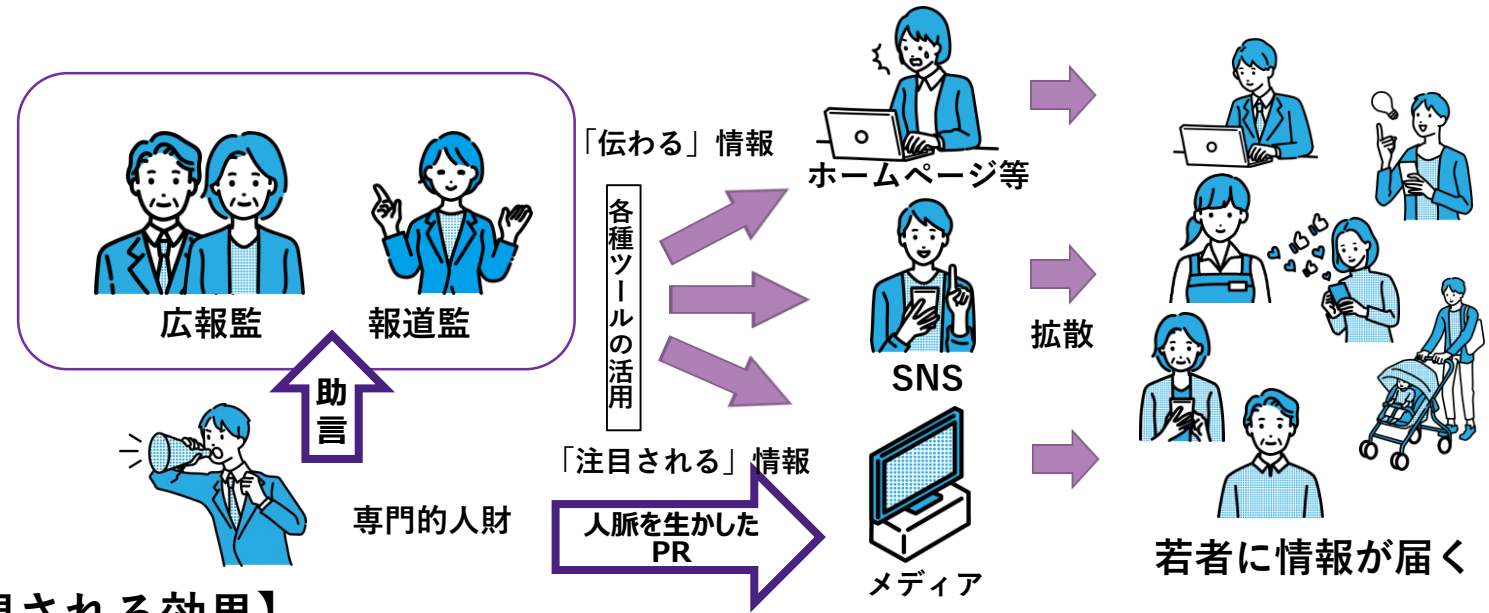
4.若者に響き、広がり、行き届く情報発信

① 専門的人財・ツールを活用した 戦略的広報

①専門的人財・ツールを活用した戦略的広報 —①人財の任用

【事業概要】

- ・ 情報発信を専門に行う人財を配置し、若者に届く情報発信を実施



【予想される効果】

- ・ メディアを知悉した人財を活用することで注目度の高い情報を発信することができ、若者に情報が届きやすくなる。

①専門的人財・ツールを活用した戦略的広報 ー②プレスリリース配信代行サービスの活用

【事業概要】

- ・ 配信代行サービスを活用し、幅広いメディアでの情報発信を実施



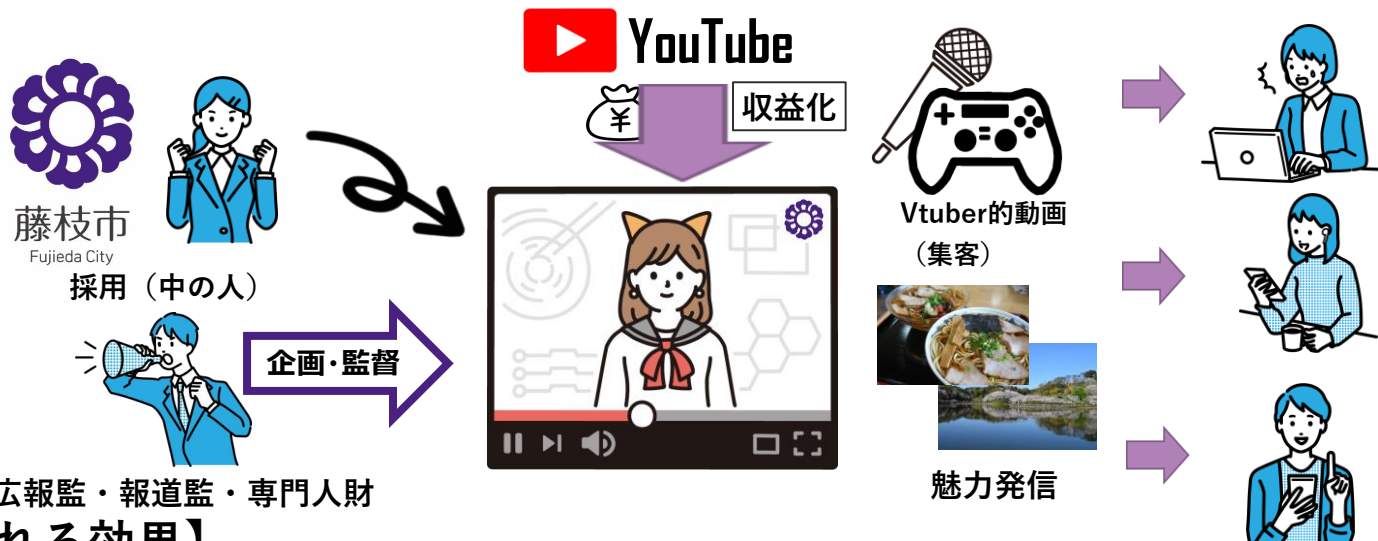
【予想される効果】

- ・ LINEニュース等の若者向けのメディアへの転載にも繋がり、藤枝市の取組をより広く周知できる

①専門的人財・ツールを活用した戦略的広報 —③全国初！Vtuber専門職員を活用した魅力発信

【事業概要】

- ・若者の関心が高いバーチャルキャラクターを採用し、情報発信を実施



【予想される効果】

- ・若者に藤枝市への関心を持ってもらうことができる。
- ・キャラクターを各種のイベントや印刷物などで活用することができ、市が行う施策に対して若者に親しみを持ってもらうことができる。

5 総括

1. 総括

① 教育環境

ライフステージに応じた
“学びの環境モデル
ふじえだ”づくり



② 仕事環境

一人一人の理想の
働き方を実現できる
まちづくり



③ 子育て環境

“孤育て”から、
”みんなで子育て”
に向けた環境整備



④ 情報環境

若者に響き、広がり、
行き届く情報
システムの構築



提案事業

- (1) 未来を生き抜く人財育成カリキュラム
- (2) 企業の職場見学・学習の仕組み構築
- (3) 藤枝市民大学と連携した就職支援－資格取得コースの充実
- (4) 資格取得者を就職まで伴走支援
- (5) 職場環境日本一！藤枝型「働く人にやさしい企業」認定制度
- (6) 働く人のQOLを向上－ミールキットで心と身体の健康支援
- (7) LINEを活用した助成や検診などのお知らせサービス
- (8) “託児付きコワーキング&リフレッシュスペース”を設置したハイブリット型子育て支援施設
- (9) 三世代にこにこ近居住宅取得促進助成制度
- (10) 専門的人材・ツールを活用した戦略的広報-人財の任用
- (11) プレスリリース配信代行サービスの活用
- (12) 全国初！Vtuber専門職員を活用した魅力発信



実現

STEP1

若者世代向けの
施策の充実

STEP2

市内全体への
施策・意識の
浸透

STEP3

個別具体的かつ
的確な情報
発信

提案事業のロードマップ

事業	R5	R6	R7	R8	R9
(1)未来を生き抜く人財育成カリキュラム	検討	制度設計	編集 製本	事業実施	
(2)企業の職場見学・学習の仕組み構築	検討	制度設計 仕組み構築	事業実施		
(3)藤枝市民大学と連携した就職支援 資格取得コースの充実	事業実施				
(4)資格取得を就職まで伴走支援	制度設計	事業実施			
(5)職場環境日本一！藤枝型「働く人にやさしい企業」認定制度	制度設計	事業実施			
(6)働く人のQOLを向上 ミールキットで心と身体の健康支援	検討	制度設計	実証実験	事業実施	
(7)LINEを活用した助成や検診などのお知らせサービス	制度設計	事業実施			
(8)“託児付きコワーキング&リフレッシュスペース”を設置した ハイブリット型子育て支援施設	検討	制度設計	事業実施		
(9)三世代にここ近居住宅取得促進助成制度	事業実施				
(10)専門的人材・ツールを活用した戦略的広報 人財の任用	検討	事業実施			
(11)プレスリリース配信代行サービスの活用	事業実施				
(12)全国初！Vtuber専門職員を活用した魅力発信	検討	制度設計	事業実施		

2. 終わりに

【調査にご協力いただいた団体様】

- ・ 視察団体

千葉市、松戸市、習志野市、長野市、長野県、菰野町、宇治市

- ・ 調査団体

No.	自治体または団体名	手段	内容
1	奈良市学校教育課 ICT教育推進課	Zoom	AIを活用した学力向上システムなどのICTを利用した先進的な教育について
2	湖南省秘書広報課	Zoom	Vtuberを活用した情報発信について
3	射水市企画管理部 未来創造課	Zoom	Vtuberを活用した情報発信について
4	茨城県営業戦略部 プロモーションチーム	Zoom	Vtuberを活用した情報発信について
5	福岡市こども未来局 子ども見守り支援課	メール	福岡市が行っている子ども習い事応援事業について質問